

生放送時における適切な字幕表示方法を開発

エル・エス・アイ ジャパン株式会社

開発の経緯

- 生字幕制作は、生放送の音声をもとに字幕を制作するため、映像・音声に対して字幕が遅れて表示されます。現状の手入力や音声変換による方法には限界がありました。

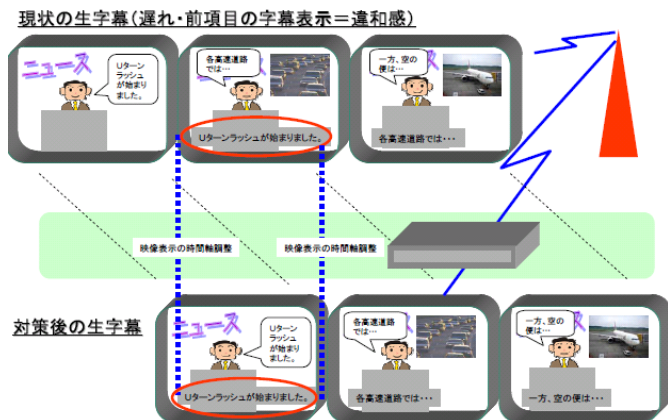
技術の特長

<技術方式名:生字幕遅延補正方式>

- 本方式は、映像・音声と字幕の表示時間軸を調整し、両者のタイミングを一致させて映し出す方法にて対処します。具体的には、放送側において遅延制御情報の送出を行い、テレビ受信機側で遅延補正を行います。
- これにより、より精度の高い字幕サービスを聴覚障害者や高齢者に提供することが可能となります。

導入事例

- 本方式は、民間放送事業者との共同にて開発、実験を行っています。今後は、他の放送事業者への導入を促進していきます。
- 本方式の普及のためには、字幕製作装置の一部変更や、民間規格である電波産業会(ARIB)の規格への追加、デジタル放送への対応などが必要となるため、積極的に関係者に働きかけていきます。



会社情報

企業名:エル・エス・アイ ジャパン株式会社
住所:東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目8番14号
電話:03-3404-1341
資本金:8,225万円
事業概要:放送・通信関連機器の製造・販売、勤怠管理ソフトの製造・販売

代表者:田中隆
URL:<http://www.lsi-j.co.jp/>
設立:昭和54年5月
従業員数:90名

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金(平成17年度)
交付機関:独立行政法人情報通信研究機構(NICT) <http://www.nict.go.jp/>
採択テーマ:生字幕を適切なタイミングで表示できるテレビ局向け字幕番組制作装置とテレビ受信方式の研究開発